

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標である「就職件数」「充足数」「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成に重点を置きました。
管轄地域は県北部に位置し、地理的に管外求職者の応募が少ない、就業場所管外の求人に応募する求職者も少ないといった自己完結型のハローワークであることから、ハローワーク利用者の拡大に取り組むとともに、就職件数の実績を積み、充足数にもつなげていくという認識の下で業務に取り組みました。

○就職件数

紹介件数や就職件数につながる取組としては、「プラス1サービス」（求職者が検討・紹介を希望した求人以外の求人の提案）を824件、「プラス2サービス」（応募書類作成指導・面接指導）を238件行いました。相談担当者を固定して就職支援を行う求職者担当者制について、令和4年度は185名の求職者を対象としましたが、令和5年度は355名の求職者を対象することができ、就職支援者数の実績を大きく伸ばすことができました。本担当者制による紹介就職件数についても、令和4年度は107件（就職率57.8%）でしたが、令和5年度は211件（就職率59.4%）と前年度より高い実績を挙げることができました。

○充足数

求人充足支援の強化に関しては、求人充足会議を通じた「求人者担当者制」（求人充足会議に出席した職業紹介部門の職員が求人充足まで支援）により、求人記載内容の見直し等のフォローアップや求職者への積極的な求人情報の提供に努めました。

○雇用保険受給者の早期再就職件数

雇用保険説明会を活用して、早期再就職した場合の「再就職手当試算表」を個人毎に作成・配布し、早期再就職の意欲喚起に努めました。雇用保険受給者を積極的に求職者担当者制の対象とし、手厚い再就職支援に努めました。令和5年度の実績は362件となり、前年度より64件多い実績を挙げることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、入省1年目から5年目の若手職員に対しては、「職業訓練の受講あっせん」「job tag」「教育訓練給付」「障害者雇用」をテーマとした所内研修を実施し、資質向上に努めました。職業紹介を担当する職員に対しては、職業相談事例検討会を16回開催し、職業相談スキルの向上に努めました。

(2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

○ハローワーク利用者の拡大と利便性の向上

来所して求人を検索するニーズは減少しており、求職者の減少にもつながっております。ハローワークの就職支援サービスを利用者に十分に伝え、ハローワークへの来所につながるよう、ハローワークのサービスメニューをよりわかりやすい内容へ周知用チラシをリニューアルしました。本チラシは、庁舎外の公共施設にも配架して、ハローワーク利用者が拡大するよう努めました。自治体の若者や移住・定住を促進する部署からはイベントの共催打診があるなど効果も見られております。

毎週発行している求人情報紙について、掲載している求人のうち、興味を持った求人は紙面の二次元コードを読み取ることでハローワークインターネットサービス（厚生労働省運営サイト）の求人検索結果と同じ画面を確認することができるよう求人情報紙をリニューアルしました。求人情報紙は利用するものの、ハローワーク窓口を利用しない方へのメッセージとして、紙面に「求人条件の詳細を掲載している求人票を差し上げます。気になる求人に丸印をつけてハローワークにお越しください。」の表記を加え、来所につながるよう努めました。

○雇用保険受給者に対する早期再就職支援に関するサービスの改善

当所で実施している「就職支援ビデオセミナー」について、放映する内容が目新しさに欠けていたため、厚生労働省ホームページにある「ハローワークオンラインサービスのご案内」のうち、主要なものを放映するよう切り替えました。

○新規求職申込者（管内人口）の高齢化への対応

シニア層の求職者が増加傾向にあることから、60歳以上の求職者が応募可能な求人に加え、65歳以上の求職者が応募可能な求人の確保に努め、それをまとめた「シニア歓迎求人の情報紙」を発行・配架し、来所の誘因を図りました。職業相談窓口では65歳以上の求職者の採用実績のある求人者をリスト化し、応募先選定の助言に活用しました。

(3) その他の業務運営についての分析等

○求職者マイページの開設促進

令和5年度の求職者マイページの開設数は、山口県内の他所と比べて低い状況にあります。求職者マイページの開設メリットや開設のための操作手順については、職業紹介担当職員のみならず他の窓口職員にも熟知させ、全所体制でマイページの開設促進に取り組みます。開設者に対しては、迅速かつ適切な求人情報の提供を行い、求人者・求職者のマッチング機会の増大に努めます。

○中高年齢層に対する就職支援の強化

年齢別にみた令和5年度の新規求職申込件数は、50歳以上の層が全体の53.0%（うち60歳以上の層が33.4%）を占め、山口県内のハローワーク平均47.1%（うち60歳以上の層が28.2%）と比べて、中高年齢者の割合が高くなっています。中高年齢者の希望が多い職種や柔軟で多様な働き方のできる求人の確保にも努めてまいります。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

○求人充足に重点を置いた求人者サービスの強化

ハローワーク利用者のアンケート調査では、求人者から人手不足に対する切実な声が寄せられていることも踏まえ、求人充足に重点をおいたサービスの強化に取り組みます。求人者マイページの利用率が高水準になっていることで、対面や対話による求人申込を受理する機会が減少していることから、計画的な求人事業所訪問を実施します。事業所訪問にあたっては、可能な限り職業紹介担当職員と求人担当職員とが一緒に訪問し、求職者情報の提供や事業所情報の収集、仕事内容欄の表記充実や助成金制度を活用することによる賃金アップ（見直し）といった求人充足可能性が高まる提案も積極的に実施します。

○ハローワーク利用者の利便性とサービスの向上

ハローワークサービスは、従来型の来所を前提としてサービスから、オンラインサービスと対面型支援を組み合わせることにより、多様なニーズに合わせた支援を行うことが可能となっております。求職者マイページは、求職者に対して、求人情報の提供、オンライン自主応募、オンライン紹介等の機能を備え、来所を求めることなくサービスを提供することが可能です。令和6年度においては、求職者マイページの開設促進・利用促進により利用者の利便性を高め、サービス提供の質・量の向上に取り組めます。

○職員専門性の向上

求職者担当者制による課題解決支援サービスの強化や求人者支援サービスの強化のため、若手職員を中心とした研修体制の整備を行い、OJTによる部門間研修、事例検討会やケース会議を積極的に実施します。

2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハロー ワークの 職業紹介 により、 正社員に 結び付い た就職氷 河期世代 の不安定 就労者・ 無業者件 数	生活保護 受給者等 の就職率
令和5年度目標	1,167	1,037	316	90.0%	90.0%	44	64.6%
令和5年度実績	1,138	1,024	362	89.2%	95.6%	78	72.2%
目標達成率	97%	98%	114%			177%	111%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。